

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-19452

(43)公開日 平成9年(1997)1月21日

(51)Int.Cl. ⁶ A 6 1 F 5/453 13/15	識別記号	府内整理番号	F I A 6 1 F 5/453 A 4 1 B 13/02	技術表示箇所 A
--	------	--------	---------------------------------------	-------------

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全4頁)

(21)出願番号 特願平7-170637	(71)出願人 000000918 花王株式会社 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号
(22)出願日 平成7年(1995)7月6日	(72)発明者 坂本 好司 栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会社研究所内

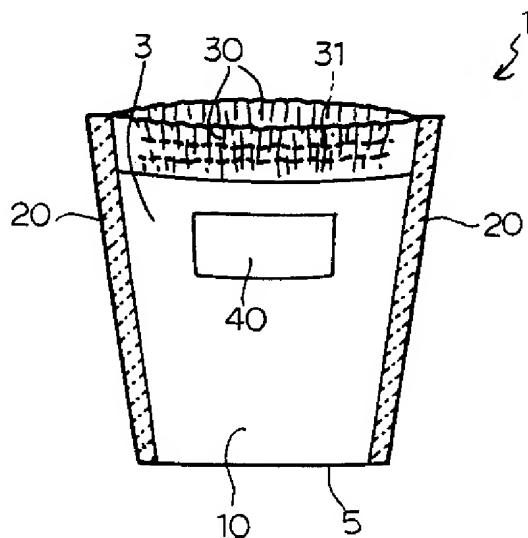
(74)代理人 弁理士 羽鳥 修 (外1名)

(54)【発明の名称】 男性用使い捨ておむつ

(57)【要約】

【課題】 装着時におむつの組み立てを間違えなく行うことができ、しかも液漏れの生じにくい男性用使い捨ておむつを提供すること。

【解決手段】 液透過性のトップシート2、液不透過性のバックシート3、及びこれら両シート間に配置される吸収体4により形成された中央吸収体部10と、該中央吸収体部10の長手方向左右両側に位置し、上記トップシート2及び上記バックシート3により形成された一対のサイドラップ20と、該中央吸収体部10の長手方向両端縁に位置し、上記トップシート2及び上記バックシート3により形成された一対の端縁部30とを有する吸収性本体からなり、上記吸収性本体の長手方向中央部を折り曲げ部5として長手方向に2つ折りにされ、互いに当接する上記サイドラップ20が固着されて、袋状になされている、男性用使い捨ておむつ。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 液透過性のトップシート、液不透過性のバックシート、及びこれら両シート間に配置される吸収体により形成された中央吸収体部と、該中央吸収体部の長手方向左右両側に位置し、上記トップシート及び上記バックシートにより形成された一対のサイドフラップと、該中央吸収体部の長手方向両端縁に位置し、上記トップシート及び上記バックシートにより形成された一対の端縁部とを有する吸収性本体からなり、上記吸収性本体の長手方向中央部を折り曲げ部として長手方向に2つ折りにされ、互いに当接する上記サイドフラップが固着されて、袋状になされている、ことを特徴とする男性用使い捨ておむつ。

【請求項2】 上記バックシートの表面には、おむつ固定用の粘着部が設けられていることを特徴とする請求項1記載の男性用使い捨ておむつ。

【請求項3】 一対の上記端縁部に、弾性部材が配されていることを特徴とする請求項1記載の男性用使い捨ておむつ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、装着が容易であり且つ液モレ防止性に優れた男性用使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 従来より、男性性器を包んで使用するタイプの男性用使い捨ておむつは、種々提案されており、代表的なものとして図1に示すもの等が挙げられる。ここで、図1は、男性用使い捨ておむつの従来例を示す図面であり、図1(a)は、従来の男性用使い捨ておむつを示す斜視図であり、図1(b)は、図1(a)に示す男性用使い捨ておむつを組み立てる過程を示す斜視図であり、図1(c)は、図1(a)に示す男性用使い捨ておむつの使用状態を示す斜視図である。

【0003】 図1(a)に示すように、従来の男性用使い捨ておむつ101は、液透過性のトップシート102と、液不透過性のバックシート103と、これら両シート間に配置される吸収体(図示せず)とを具備し、実質的に縦長に形成されている。また、上記トップシート102とバックシート103と上記吸収体とにより形成され、幅方向中央部に位置する中央吸収体部110、及び、上記トップシート102と上記バックシート103とにより形成され、該中央吸収体部110の長手方向左右両側にそれぞれ位置する一対のサイドフラップ120を有する。また、上記サイドフラップ120には、それぞれ、その長手方向略中央部に弾性部材122が配されてギャザー121が形成されている。そして、上記男性用使い捨ておむつ101を使用する際には、図1(b)に示すように、おむつの一端を上記トップシート102

側に折り曲げ、更に他端を該一端のバックシート上に折り重ね、粘着剤を塗布して形成された固着部130を介しておむつを固定して、図1(c)に示すようにサック状とし、更に、粘着部140を介して他の使い捨ておむつや下着に粘着させることにより使用していた。

【0004】しかし、上述の従来の男性用使い捨ておむつは、該おむつの組み立て状態を維持するために、上記固着部の粘着力の方が該上記粘着部の粘着力よりも強くなされているが、おむつを組み立てる際に該粘着部と該固定部とを間違え易いために、装着中におむつが外れやすいという問題及び該男性用使い捨ておむつを他の使い捨ておむつ等に強固に固定してしまい剥がすのが困難となるという問題等があった。また、上記の粘着部は、矩形状のものがバックシートの一部に設けられているのみであったために、サック状に組み立てても先端部に隙間が生じてしまい液漏れが生じるという問題があった。

【0005】従って、本発明の目的は、装着時におむつの組み立てを間違えなく行うことができ、しかも液漏れの生じにくい男性用使い捨ておむつを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明者らは、上記課題を解決すべく鋭意検討を行った結果、袋状になされた男性用使い捨ておむつが、上記目的を達成し得ることを見した。

【0007】 本発明は、上記知見に基づいてなされたものであり、液透過性のトップシート、液不透過性のバックシート、及びこれら両シート間に配置される吸収体により形成された中央吸収体部と、該中央吸収体部の長手方向左右両側に位置し、上記トップシート及び上記バックシートにより形成された一対のサイドフラップと、該中央吸収体部の長手方向両端縁に位置し、上記トップシート及び上記バックシートにより形成された一対の端縁部とを有する吸収性本体からなり、上記吸収性本体の長手方向中央部を折り曲げ部として長手方向に2つ折りにされ、互いに当接する上記サイドフラップが固着されて、袋状になされている、ことを特徴とする男性用使い捨ておむつを提供するものである。

【0008】 また、本発明は、上記バックシートの表面に、おむつ固定用の粘着部が設けられている上記男性用使い捨ておむつを提供するものである。また、本発明は、一対の上記端縁部に、弾性部材が配されている上記男性用使い捨ておむつを提供するものである。

【0009】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の男性用使い捨ておむつを図面を参照して更に詳細に説明する。本発明の男性用使い捨ておむつの1形態について、図2及び3を参照して説明する。ここで、図2は、本発明の男性用使い捨ておむつの1形態を示す斜視図であり、図3は、図2に示す男性用使い捨ておむつの一部破断展開図である。

【0010】図2に示す本形態の男性用使い捨ておむつ1は、図3に示す、液透過性のトップシート2、液不透過性のバックシート3、及びこれら両シート間に配置される吸収体4により形成された中央吸収体部10と、該中央吸収体部10の長手方向左右両側に位置し、上記トップシート2及び上記バックシート3により形成された一対のサイドラップ20、20と、該中央吸収体部10の長手方向両端縁に位置し、上記トップシート2及び上記バックシート3により形成された一対の端縁部30、30とを有する吸収性本体1'からなる。そして、本形態の男性用使い捨ておむつ1は、上記吸収性本体1'の長手方向中央部5'（図3参照）を折り曲げ部5として長手方向に2つ折りにされ、互いに当接する上記サイドラップ20が固着されて、袋状になされている。

【0011】更に詳述すると、上記中央吸収体部10は、上記トップシート2と上記バックシート3と上記吸収体4とを従来公知の方法により一体に貼り合わせて形成されており、一対の上記サイドラップ20、20及び上記端縁部30、30は、それぞれ上記トップシート2と上記バックシート3とを、ヒートシール法等により一体に貼り合わせて形成されている。

【0012】また、図2及び図3に示すように、上記バックシート3の表面には、おむつ固定用の粘着部40が設けられている。そして、該粘着部40は、使用前（保存時）には、剥離紙（図示せず）によって保護されており、使用時には該剥離紙を剥離させて該粘着部を露出させて使用する。また、図2及び図3に示すように、一対の上記端縁部30には、弾性部材31が配されており、ギャザーが形成されている。

【0013】また、上記吸収性本体1'は、図3に示すように、その長手方向中央部5'が括れた形状となるよう、両端縁から該長手方向中央部5'に向けて幅細に形成されており、該吸収性本体1'を2つ折りにして袋状とした本形態の男性用使い捨ておむつとした場合にサック形状となるようになされている。また、図3に示すように、上記吸収性本体1'の左右両側部には、疎水性部材が配されて、疎水性立体ガード6が形成されている。

【0014】また、本形態の男性用使い捨ておむつ1は、上記長手方向中央部5'で上記吸収性本体1'を2つ折りにして、上記サイドラップ20を互いに当接させ、相重なるトップシート同士をそれぞれシールして、サック状の袋状になされている。この際、シールする方法としては、接着剤による方法、ヒートシールによる方法などを採用することができる。

【0015】また、上記トップシート2、上記バックシート3及び上記吸収体4を形成する材料としては、それぞれ下記するものを用いることができる。

【0016】上記トップシート2の材料としては、排泄

物を吸収体4へ透過させる液透過性シートで肌着に近い感触を有したものが好ましく、このような液透過性シートとしては、例えば、織布、不織布、多孔性フィルム等が好ましく挙げられる。また、上記トップシート2には、その周縁部にシリコン系油剤、パラフィンワックス等の疎水性化合物を塗布する方法や、あらかじめアルキルリン酸エステルのような親水性化合物を全面に塗布し、次いでその周縁を温水で洗浄する方法により撓水処理を施し、周縁部における尿等のにじみによるモレを防止することができる。また、ヒートシールにより、サイドラップを固着する場合には、上記トップシートとしてはヒートシール可能な材料を用いるのが好ましく、例えば、ポリエチレンーポリプロピレン複合纖維、ポリエチレンーポリエステル複合纖維等が用いられる。

【0017】上記バックシート3の材料としては、ポリエチレン等のポリオレフィン等からなるフィルム等が用いられ、好ましくは熱可塑性樹脂にフィラーを加えて延伸した液不透過性かつ蒸気を透過させる蒸気透過性のシートが用いられ、肌着に近い感触を有したもの、たとえば、バックシートにエンボス処理を施したもの、フィルムと不織布との複合材、あるいはフィルムと織布との複合材料等が用いられる。

【0018】上記吸収体4の材料としては、解纖パルプを主材とし、高分子吸水ポリマーを併用したものが好ましく、その他熱可塑性樹脂、セルロース纖維、あるいは高分子吸水ポリマーの混合物に熱処理したものが好ましい。高分子吸水ポリマーの存在位置は、上層、中層、下層のいずれであってもよく、パルプと混合したものであっても良い。高分子吸水ポリマーは自重の20倍以上の液体を吸収して保持する性能を有し、ゲル化する性質を有する粒子状のものが好ましく、このような高分子吸水ポリマーとしては、デンブンーアクリル酸（塩）グラフト共重合体のケン化物、ナトリウムカルボキシメチルセルロースの架橋物、アクリル酸（塩）重合体等が好ましい。

【0019】上記弾性部材31としては、通常使い捨ておむつ等の吸収性物品に用いられる弾性部材であれば特に制限なく用いることができるが、その形状は紐状であるのが好ましい。また、上記粘着部40は、粘着剤を塗布することにより形成されており、該粘着部40を形成する上記粘着剤としては、ゴム系ホットメルト接着剤等が挙げられる。また、上記疎水性材料としては、通常使い捨ておむつの疎水性立体ガードとして用いられているものであれば特に制限なく用いることができ、疎水性の不織布などが挙げられる。

【0020】本発明の男性用使い捨ておむつ1は、上述のように袋状に構成されているので、図1に示すような従来のおむつのように、使用時に、更に組み立てる必要がないので、組立を間違えることがなく、おむつの装着操作（おむつの組み立て）を容易に行うことができる。

また、本形態の男性用使い捨ておむつ1は、袋状になされており、おむつの先端部が折り曲げ部5であり、また、両側縁部も予めシールされているので、おむつの先端部に隙間などがない、該先端部から液漏れを生じる惧れがない。

【0021】尚、本発明の弾性用使い捨ておむつは、上記の形態に何ら限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々変更可能である。

【0022】

【発明の効果】本発明の男性用使い捨ておむつは、装着時におむつの組み立てを間違えなく行うことができ、しかも液漏れの生じにくいものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、男性用使い捨ておむつの従来例を示す図面であり、図1(a)は、従来の男性用使い捨ておむつを示す斜視図であり、図1(b)は、図1(a)に示

す男性用使い捨ておむつを組み立てる過程を示す斜視図であり、図1(c)は、図1(a)に示す男性用使い捨ておむつの使用状態を示す斜視図である。

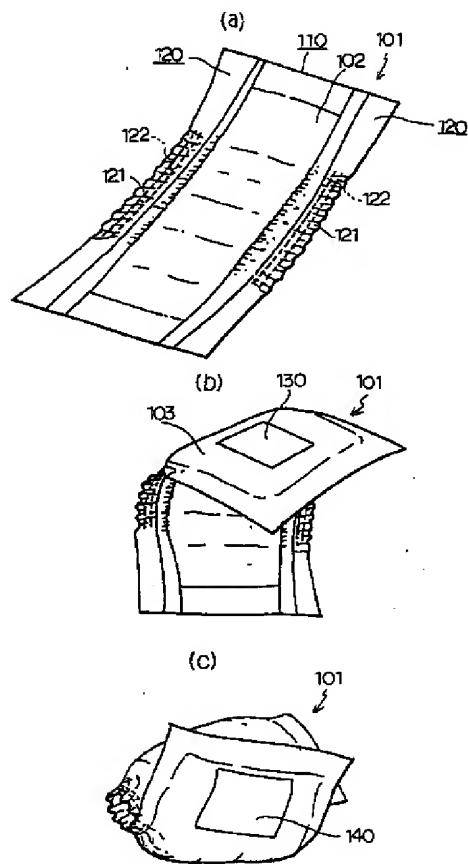
【図2】図2は、本発明の男性用使い捨ておむつの1形態を示す斜視図である。

【図3】図3は、図2に示す男性用使い捨ておむつの展開図である。

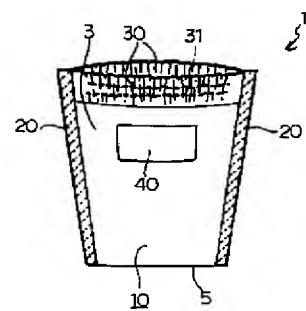
【符号の説明】

- 1 男性用使い捨ておむつ
- 2 トップシート
- 3 バックシート
- 4 吸収体
- 5 折り曲げ部
- 10 中央吸収体部
- 20 サイドフラップ
- 30 端縁部

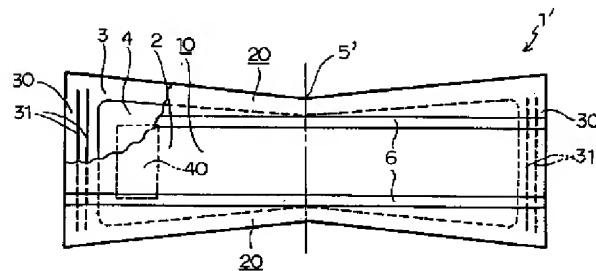
【図1】



【図2】



【図3】



MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

JAPANESE

LEGAL STATUS

1 / 1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-019452

(43)Date of publication of application : 21.01.1997

(51)Int.Cl.

A61F 5/453

A61F 13/15

(21)Application number : 07-170637

(71)Applicant : KAO CORP

(22)Date of filing : 06.07.1995

(72)Inventor : SAKAMOTO KOJI

(54) DISPOSABLE MALE DIAPER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a disposable male diaper which can be easily worn, and which is excellent in liquid-tightness by constituting a center absorbent part with a liquid-permeable top sheet, a liquid-impermeable bag sheet and an absorbent, and by forming a pair of side traps to the longitudinally opposite sides of the center absorbent part.

SOLUTION: A pair of side traps 20 formed of sheets 2, 3 are formed on the longitudinal left and right sides of a center absorbent part 10 composed of a liquid-permeable top sheet 2 and a liquid-impermeable back sheet 3 and an absorbent 4 arranged between the sheets 2, 3. Further, an adhering part 40 for fixing a diaper is formed on the outer surface of the back sheet 3, this adhering part 40 is covered with a releasable sheet, and is exposed by peeling off the releasable sheet when it is used. During use, the diaper is bi-folded along the longitudinal center part 5' of the absorbing body 1' as a folding part, and the side flaps 20 which are made in contact with each other are fixed together so as to form a bag-like shape.

